

岐阜大学医学部附属病院・希望が丘学園・岩砂病院・岐阜市民病院・高山赤十字病院・山内ホスピタル・市立恵那病院リハビリテーション研修プログラム

【プログラム概要】

リハビリテーション(以下,リハビリ)科の医師として,急性期から回復期・維持期に渡り,多様な障害を有する患者に対して医学的リハビリおよび在宅医療・社会復帰の計画立案ができるようになるために,リハビリ医学についての知識および診療技術を習得する。大学では工学部との連携によるリハビリ工学の研究も参加可能である。

1 到達目標

- ・リハビリ診察法に熟練する。
 - 1) 機能障害を有する患者に対し機能評価(関節可動域測定,徒手筋カテスト,片麻痺の評価等、動作解析)を行なう。
 - 2) 能力障害を有する患者に対し能力評価(歩行を含む日常生活動作等)を行なう。
 - 3) 呼吸器リハビリテーション・循環器リハビリテーションについて禁忌・状態に応じた適切な処方を行う。
- ・リハビリ基本技術に熟練する。
 - 1) 電気診断学(筋電図等)を適応に基づき安全に実施する。
 - 2) 嚥下造影検査を適応に基づき安全に実施する。
 - 3) 理学療法の処方について熟練する。
 - －物理療法(温熱・電気刺激等)について禁忌に配慮した上で処方を行う。
 - －関節可動域訓練,筋力維持・強化訓練についてリスクに配慮した上で処方を行う。
 - －基本動作・歩行訓練についてリスクに配慮した上で処方を行う。
 - 4) 作業療法の処方について熟練する。
 - －機能的作業療法・日常生活動作訓練について適応を判断し処方を行なう。
 - －支持的作業療法・職業前訓練について適応を判断し処方を行なう。
 - 5) 言語聴覚療法の処方について熟練する。
 - －構音障害・失語症の評価・訓練について処方を行なう。
 - －摂食嚥下障害の評価・訓練について処方を行なう。
 - 6) 補装具の適応判断および処方,適合判定に熟練する。
 - 7) 神経ブロックの適応を判断し安全に行う。
- ・社会復帰に向けての患者・家族指導に熟練する。
- ・リハビリに関与する医療スタッフと協調したチームアプローチについて熟練する。
- 8) 呼吸機能検査・心機能検査の計測・内容の把握。

2 方略

病棟においては,障害を有しリハビリを行うに患者を受け持ち,リハビリ診察・治療を進めるとともに,基本的なプライマリーケアを行う。外来においては,リハビリ依頼に応じ対診し,

リハビリ診療・治療を進める。また、社会復帰(家庭・職業復帰)を果たした後の機能・能力維持のための経過観察を行う。

・日本リハビリ医学会専門医試験資格を得るための症例経験

以下に挙げた分野ごとに複数例のリハビリ治療を経験し、研鑽を重ねる。

- 1) 脳損傷(脳卒中・外傷性脳損傷)
- 2) 脊髄損傷
- 3) 小児疾患(脳性麻痺を含む)
- 4) 神経筋疾患
- 5) 骨関節疾患(関節リウマチを含む)
- 6) 切断
- 7) 循環器疾患
- 8) 呼吸器疾患

回復期については連携病院である岩砂病院にて指導医のもと研修を行う。

小児の疾患については県立希望ヶ丘学園にて研修する。

カンファランス・研修会

・セミナー

附属病院において年 1 回 リハビリテーション研究会を主催し、リハビリ医学に関する所属医師の講演(基礎的な教育講演から up to date まで)を聴講する。かつ臨床助手も発表者としてリハビリ医学に関する題目について、指導医の指導のもと準備し、プレゼンテーションを行う。

・カンファレンス

病院において行われる脳血管・運動器・内科疾患・高次救命などのカンファレンスに参加し、患者の報告や検討を行う。

学術活動

・学会発表

研修中に 2 回程度の学会発表を行う。発表にあたっては指導医の指導のもと、症例報告や研究(責任者・共同研究者として)報告を行うためのデータ収集・処理およびプレゼンテーション技能を学ぶ。

・論文執筆

前述の学会発表に基づいて、指導医の指導のもと原著論文を執筆する。

・専門医試験を目指す医師の症例レポートを介した症例検討およびレポートチェック。

3 評価

リハビリテーション医学会の定める卒後研修カリキュラム内容について、各年度末に直属の指導医がリハビリ医学における診療技術の習得状況を評価する。

募集定員

2名／年度

研修期間

平成30年4月1日～平成33年3月31日

募集期間・方法

研修施設

1) 基幹研修施設

岐阜大学医学部附属病院リハビリテーション部

(受入 2名)

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会認定基幹研修施設

急性期病院 特定機能病院

岐阜市柳戸1-1

研修プログラム責任者 青木隆明

指導責任者 岩間 亨

指導医 青木隆明 (リハビリテーション部副部長)

2) 関連研修施設

岩砂病院リハビリテーション科

(受入1名)

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会認定基幹研修施設

回復期病棟

岐阜市八代1丁目7番1

研修プログラム責任者 森 憲司

指導責任者 長野俊彦

指導医 森 憲司 (リハビリテーション科部長)

岐阜市民病院リハビリテーション科

(受入1名)

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会認定基幹研修施設

急性期病棟・外来

岐阜市鹿島

研修プログラム責任者 佐々木裕介
指導責任者
指導医 佐々木裕介（リハビリテーション科部長）

高山赤十字病院リハビリテーション科
（受入1名）
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会認定基幹研修施設
回復期病棟
高山市天満町 3-11
研修プログラム責任者 村川孝次
指導責任者 柴田 敏郎
指導医 村川 （リハビリテーション科部長）

市立恵那病院
（受入1名）
回復期病棟
恵那市大井町 2725
研修プログラム責任者 寺島宏明
指導責任者 細江雅彦
指導医 寺島宏明（リハビリテーション科部長）

山内ホスピタル
（受入1名）
回復期病棟
岐阜市市橋 3-7-22
研修プログラム責任者 村橋 彩
指導責任者 山内英通
指導医 村橋 彩（リハビリテーション科医長）

希望ヶ丘学園
（受入1名）
一般病棟 小児
岐阜市則武 1861-1
研修プログラム責任者 徳山 剛
指導責任者 徳山 剛
指導医 徳山 剛（所長）

研修管理組織

岐阜大学医学部附属病院（基幹研修施設）専門医研修管理委員会

研修身分・待遇

給与：10,000 円／日

時間外勤務手当、夜間研修手当、通勤手当有

（実績 月額 約 360,000 円）

休暇 1) 年次有給休暇

2) 夏期休暇

社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険等

健康診断：年 1 回

研修医宿舍 有（独身 16 戸）（月額 5,000 円 駐車場、水道代込）

専用医室 有

関連研修施設

医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ

雇用形態：常勤医師

給与：報酬月額（税込）月 80 万円以上（医師免許取得後 3 年以上）

当直料込み

勤務形態：勤務時間 8 時 30 分から 17 時 30 分

当直 有（月 2 回程度）

休 暇：

（1）年次有給休暇：（労働基準法による）

社会保険：健康保険，厚生年金，雇用保険等

健康診断：年 2 回（春・秋）

宿 舎：無

専攻医机：あり

カンファレンスルーム：あり

図書室：あり

1) 基幹研修施設

岐阜大学医学部附属病院リハビリテーション科

| リハビリテーション分野 | 急性期 | 回復期 (相当期) | 生活期 |
|--------------------|-----|--------------|-----|
| (1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など | ◎ | × | × |
| (2) 脊髄損傷、脊髄疾患 | ◎ | × | ○ |
| (3) 骨関節疾患、骨折 | ◎ | × | × |
| (4) 小児疾患 | | ◎ | |
| (5) 神経筋疾患 | | ◎ | |
| (6) 切断 | ◎ | ○ | × |
| (7) 内部障害 | ◎ | ○ | × |

| | | | |
|---------------------------|---|---|---|
| (8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など) | ◎ | ○ | ○ |
|---------------------------|---|---|---|

関連研修施設

医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科
市立恵那病院 高山赤十字病院 山内ホスピタル リハビリテーション科

| リハビリテーション分野 | 急性期 | 回復期 | 生活期 |
|---------------------------|-----|-----|-----|
| (1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など | × | ◎ | ◎ |
| (2) 脊髄損傷、脊髄疾患 | × | ○ | ○ |
| (3) 骨関節疾患、骨折 | × | ◎ | ○ |
| (4) 小児疾患 | | × | |
| (5) 神経筋疾患 | | △ | |
| (6) 切断 | × | △ | × |
| (7) 内部障害 | × | ○ | ○ |
| (8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など) | × | ◎ | ○ |

岐阜市民病院 リハビリテーション科

| リハビリテーション分野 | 急性期 | 回復期 (相当期) | 生活期 |
|---------------------------|-----|--------------|-----|
| (1) 脳血管障害、外傷性脳損傷など | ◎ | × | × |
| (2) 脊髄損傷、脊髄疾患 | ◎ | × | ○ |
| (3) 骨関節疾患、骨折 | ◎ | × | × |
| (4) 小児疾患 | | ◎ | |
| (5) 神経筋疾患 | | ◎ | |
| (6) 切断 | ◎ | ○ | × |
| (7) 内部障害 | ◎ | ○ | × |
| (8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など) | ◎ | ○ | ○ |

研修施設紹介

1. 岐阜大学医学部附属病院（基幹研修施設）

所在地 岐阜市柳戸 1-1

電話 058-230-6000

特定機能病院、高度救命救急センター、災害拠点病院（基幹災害拠点病院）、エイズ治療拠点病院（エイズ治療ブロック拠点病院）、がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院等の指定等

疾患別リハビリテーション料施設基準

| | |
|------------------|----|
| 脳血管疾患等リハビリテーション料 | I |
| 運動期リハビリテーション料 | I |
| 呼吸器リハビリテーション料 | I |
| 心大血管疾患リハビリテーション料 | I |
| がん疾患リハビリテーション料 | あり |

リハビリテーション科病床数： 無

リハビリテーション科としては外来診療・主に急性期・術前術後のリハビリテーションを扱う。病床は無いが、多くの診療科の患者疾患を扱い、処方・リハビリ評価検査を行う。606床の入院患者の内、約60%の患者がリハビリを施行している。

2. 医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科

所在地 〒502-0817 岐阜県岐阜市八代1丁目7番1

電話 058-231-2631

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、小児科、産科、婦人科、放射線科、
リハビリテーション科

指定内容 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

日本脳卒中学会認定研修教育病院

労災指定病院

回復期リハビリテーション病棟 40床

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料 I

運動期リハビリテーション料 I

呼吸器リハビリテーション料 I

紹介内容： 医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティは、全132床の病床のうち、40床の回復期リハビリテーション病棟を持っています。近隣の複数の総合病院から多くの患者様をご紹介頂いており、おおよそ95%が紹介患者様です。回復期リハビリテーション病棟の疾患分類は、脳血管疾患が約60-70%、整形外科疾患が約20-30%、廃用症候群などが約10%です。在宅復帰率はおおよそ80%の実績があります。外来通院でのリハビリテーションの他に、法人内には訪問リハビリテーション、グループホーム、老人保健施設、特別養護老人ホームなどがあり、生活期の方々にも対応できるようにしております。また、回復期リハビリテーション病棟の入院患者様は内科医師のバックアップと内科病棟との連携のもとで体調管理を行っております。リハビリテーション治療には電気刺激装置などの機器も積極的に導入し、より質の高い治療を提供できるようにしております。指導責任者はリハビリテーション科専門医の資格に加えて、脳神経外科専門医、脳卒中専門医の資格も有しております。

参考

日本リハビリテーション医学会

専門医制度卒後研修カリキュラム

〔序文〕

日本リハビリテーション医学会は1963年に設立され、
リハビリテーション医療ならびに医学の発展と会員の臨
床知識・技能の向上に寄与してきた。1980年に専門医制

度が制定され、1987年から5年間の移行期間を経て1992年に認定臨床医制度と新たな専門医制度が発足した。さらに2003年に専門医制度規則が改正され、「専門医」の名称が「リハビリテーション科専門医」に変更された（学会誌40巻474頁掲載）。

一方、教育研修体制も専門医認定制度と平行して整備され、1982年にリハビリテーション医学卒後研修ガイドライン（学会誌19巻352頁掲載）が作成され、1993年に改訂された（学会誌30巻370頁掲載）。その後2003年に教育大綱が定められ（学会誌40巻473頁掲載）、それに則った卒後研修カリキュラムの改訂案作成作業が教育委員会により認定委員会との連携をとりつつ進められてきた。この研修カリキュラムは、教育委員会で作成したもので、その内容として、リハビリテーション科専門医に相応しい知識・技能を修得することを目指し、卒後5年間のリハビリテーション医学の研修を行う際の目標として望まれる項目とレベルが示されている。しかし、臨床場面では、この研修目標に示されたこと以外にもリハビリテーション科専門医として必要とされることは多く、日進月歩のレベルを保持するためにも、リハビリテーション科専門医資格取得後も本研修目標をこえてさらに生涯研修に努めることが望まれる。

〔カリキュラム修了の要件〕

1. 2年間の卒業臨床研修
2. 上記1の終了後、更に学会の認定した研修施設での3年間以上の研修

〔研修の到達レベルと評価基準〕

総論と各論の各項目について到達すべきレベルと年次を示す。

評価は、到達すべき年次ごとに指導責任者及び研修者自らが行う。

到達レベル及び評価基準の指標は以下のとおりである。

到達レベル

I. 知識

A：よく理解している

B：概略を理解している

II. 診断・評価

A：自分ひとりでできる

B：指導責任者のもとでできる

C：概略を知っている

Ⅲ. 治療

A：自分ひとりでできる

B：指導責任者のもとでできる

C：概略を知っている

評価基準

3：目標に達した

2：ほぼ目標に達した

1：さらに努力を要する

0.初期臨床研修 1-2 年

(1) 内科学（神経内科，呼吸循環

6 か月

器内科，老年内科を含む）

(2) 外科学（整形外科，救急医療

6 か月

を含む）

(3) 小児科学（障害児療育を含む）

1 か月

以上

(4) 精神医学（障害児療育を含む）

1 か月

以上

(5) 地域医療（リハビリテーション 1 か月

医療を含む） 以上

期間

自己

評価

指導責任者評価 他評価表 手帳参照